バリューチェーン

KOITOグループは、研究開発、調達、生産・品質管理、受注・販売のそれぞれのバリューチェーンにおける取り組みを強化し、付加価値の高い製品・サービスを社会にお届けすることで、企業価値向上を図るとともに、社会課題の解決を目指しています。

	研究開発	調　達	生産・品質管理	受注・販売
概要	KOITOグループは、光学、エレクトロニクス等の先端技術を駆使し、安全・安心を追求するとともに、環境に配慮した独創的なシステム商品の研究開発を実施しています。 KOITOグループの研究開発活動は、基礎研究と製品開発の2つに大別されます。 基礎研究 日本の技術センターを中心に、当社のコア技術（光学・電子・機構・構造等）の更なる進化による市場ニーズを先取りした次世代製品の実現に向け、研究を実施しています。 製品開発 自動車メーカーなど顧客へ新技術提案を行うとともに、開発計画、要求仕様に適合する製品開発を行っています。	KOITOグループは、製品の生産にあたって必要な材料・部品の仕入先を選定し、部品調達を行っています。 仕入先の選定にあたっては、部品の仕様、月間数量、単価・金型等の見積価格を基に判断しています。また、新規調達を実施する場合、仕入先の工場監査を行い、認定を行っています。 材料・部品の調達計画は、KOITOグループの生産計画に基づいて立案、管理しています。	KOITOグループは、関係会社や仕入先から購入した材料・部品を用い、自ら開発・設計した製品を生産しています。関係会社における新製品の製造開始時や製造工程の変更時には、工場監査を行っています。 KOITOグループは、自動車メーカーなどの顧客や関係会社からの発注予想（月次・年間・中長期計画等の内示）、及び確定発注に基づき、納入計画、在庫計画などを勘案した生産計画を策定しています。 品質管理においては、KOITOがグループ全体の品質保証に関する管理運営を行い、品質検査基準や品質管理方法等を策定しています。製造に従事する関係者は、当該基準・管理方法に基づき、品質管理活動を実施しています。	KOITOグループは、グローバルで顧客ニーズを把握、関係本部と協業にて具現化、プレゼンテーションを通じて提案、受注・販売活動を行っています。 KOITOグループは、顧客との良好な信頼関係のもと安全・安心、環境負荷低減に貢献する次世代製品を提案、販路・売上拡大を目指しています。
KOITOグループの強み	●世界5極（日本・米州・中国・欧州・アジア）でのグローバルな研究開発体制 ●顧客・仕入先・外部機関等との連携によるニーズの的確な把握と製品への反映 ●ADB（Adaptive Driving Beam:配光可変ヘッドランプ）による夜間視界の拡大など安全・安心の提供 ●LED化の推進など、省電力・小型・軽量な製品による地球温暖化防止への貢献 ●豊富な知見・経験に基づく技術課題への迅速な対応 ●多様性のある技術人材の育成・強化のための教育体制	●現地調達・最適地調達を可能にするグローバルな調達体制 ●現地調達の拡大による為替変動影響の緩和 ●仕入先との良好な関係の維持・強化 ●仕入先との協業による継続的な改善活動により高いレベルのQCDD（Quality, Cost, Delivery, Development）の実現 ●災害発生時に仕入先の被害状況や問題を迅速に把握し、仕入先と連携して必要な対策が取れるBCP体制の整備 ●地球温暖化防止など、持続可能な社会の実現に向けたサプライチェーン全体でのCSR/ESG活動の推進	●KPS（小糸生産方式）による適正な生産体制 ●世界5極でのグローバルな生産体制と品質保証体制 ●KOITOの静岡地区をマザー工場とし、海外における工場・新製品の立ち上げや各種課題の対策を支援 ●グループ全体の従業員に対し技能・技術の伝承と向上を目指した実習、研修の実施 ●生産現場における改善活動の強化と継続	●世界5極でのグローバルな情報収集・販売体制 ●世界トップシェアの販売力 ●変化・多様化する顧客ニーズの的確な把握と具現化提案力 ●顧客との密接なコミュニケーションに基づく良好で強固な関係性の維持・強化 ●自動車照明器事業で培った光源・配光技術を航空・鉄道・インフラ関連製品へ応用した商品提案
取り組み課題 事業課題	●CASE（コネクティッド・自動運転・シェアリング・電動化）やMaaS（Mobility as a Service）など、急速な技術・市場ニーズの変化、開発競争激化に対応する研究開発テーマの推進 ●ADAS（先進運転支援システム）や自動運転で安全・安心に寄与するLiDARや全天候カメラなど周囲監視センサの開発 ●各種シミュレーションやDX推進による製品開発の効率化 ●技術の伝承・進化に向けたエンジニアの育成・確保	●供給柔軟性の確保、サプライチェーンBCPの実効性強化による安定調達 ●仕入先ポートフォリオの最適化（協業と競争原理の徹底）	●グローバルなQCDDの向上による競争力強化 ●製品の高度化・複雑化に対応する品質マネジメントの強化 ●スマートファクトリーの実現など、AI・IoT等を活用した生産性の向上 ●建屋・設備の耐性強化、補完的供給力の向上など、生産現場におけるBCPの強化	●顧客・市場ニーズを反映した受注・販売体制の強化 ●顧客満足度の向上 ●コンプライアンス意識の醸成・強化に向けた教育・研修
取り組み課題 社会課題	●安全・安心なクルマ社会とカーボンニュートラルの実現に貢献する先進技術開発の推進	●サプライチェーン全体でのCSR/ESG活動のレベルアップ ●カーボンニュートラルの実現に向けたサプライチェーンへの活動強化	●カーボンニュートラルの実現や環境負荷物質低減・資源の有効活用に貢献する生産設備・工程へのシフト	●安全・安心なクルマ社会の実現と社会的課題の解決に貢献する魅力ある製品の提案